

沖縄に来られるご家族の想い：15世帯のレスキューメール

今回ご紹介するメールは、大震災から8カ月経過している「いま現在」の、宮城県・福島県・群馬県・茨城県・千葉県の、「15世帯51名」の大家族からのメッセージです。

つなぐ光に届くメッセージ（レスキュー要請メール）は、ほぼ100%「お母さん」から頂きますし、下記のメールも全て各世帯の「お母さん」からいただいたものです。

この国は、いつの時代も母親たちが守り、そして母親たちが変革させてきたのではないかと痛感しています。

=====

●01：

すみません、家族の体調不良により、移住も含め、一時避難をお願いします。

3か月以上不調なので、今月20日過ぎにはお願いします。

学校は休ませても、早く離れて体調を整えたいです。

2番目は、学校もよく休むしかない状況です。

もう、〇〇市には、戻れないとっていて、〇〇市へ避難しても調子が悪くなってしまい、私の転職や移住地を探しております。

〇〇地方でもと思いましたが、体調不良の原因が分からず、血液検査により、リンパ球が下がり、骨が骨折や癌などを修復するときの物質が上がリ、放射性物質での影響だと感じております。

知人で〇〇市の高校生にセシウムでた方も湿疹が出たとか、〇〇さんによる、問診票にもあてはまる症状が多いので、距離を離れてみたいのです。

●02 :

出来ればゆいまーるの杜で滞在させて頂きたいのですが、よろしくお願い致します。

現在妊娠〇〇ヶ月で、ネットで調べた三年保育の幼稚園と産婦人科を見学したりする予定です。

家が倒壊したわけではないので緊急ではないですが、内部被曝を考えて、子供とお腹の子供も、食の安全な場所と、外で遊ばせてあげたいので避難したいです。

〇〇市の人達よりも安全ですが、震災後電気が止まり、テレビ等見られず、水道が止まって井戸水で生活していました。

家族みんな、下痢や喉が痛い等ありましたが、季節柄、気のせいかと思っていました。

地震の後に、〇〇歳の子供と風の強い日も、外で遊んだり、雨の日も濡れても気にせずに過ごしました。

気付くのが遅かったですが、放射能の事は後で知りました。

私が住んでいる〇〇市には、老朽化が進んで、出産する事は出来ない産婦人科しかありません。

一人目の子供は車で50分の、〇〇市のクリニックで産みました。

現在 同じ所で妊娠検診していますが、クリニックの方針で、ダウン症等の検査は希望を出しても検査はしません。

放射能の影響で胎児に影響があるかもしれないと妊娠中に不安になるなら、妊娠中に気にせずに過ごした方が良く、仮に障害を持った子が産まれても、その後に考えればとの事。

人権問題に関わるので、手術して処理する事は出来ないとの事で、クリニックの栄養士の先生も、魚や椎茸等、放射能の事を考えたら、食べる物がなくなるので、栄養の事を考えたら食べましようと言われました。

沖縄で移住先を探して、子供の無事を考えたいです。

牛乳、卵、野菜とかお水を〇〇地方から取り寄せる毎日ですが、食べ物に気を使うのにストレスを感じます。

お腹の子供が産まれた後に、風向きを気にせずに、安全な空気を吸わせたいです。

●03：

ホットスポット地域で計測器片手に生活をしています。

実家が〇〇県の農家で線量が高く、安心して避難できる場所がない状況です。

生理不順、私だけ咳が止まらずし、症状が現れていないだけで子供の方も心配になってきました。

新体制になったとお聞きしました。

〇〇県でもエリアが違うのですが、対象地域として難しいようでしたら、そのときは諦めますので、躊躇なくその旨ご教示ください。

先日気象庁から異例の発表があった〇〇県沖の地震予知、最近の〇〇県の余震の多さからして12月か1月を希望しています。

私たちも金銭的に圧迫してきているのと、主人は今の会社をやめる気がなく、意見の食い違いがあり、あがいている状況です。

しかし私は子供を連れての放浪生活に疲れてきて体調も崩しているので落ち着く場所を求めています。

よろしく願いいたします。

●04：

〇〇県在住の〇〇歳の子供を持つ母です。

200km 圏内が対象とのことですが、〇〇県でも大丈夫でしょうか？

12月の中旬から1ヶ月くらい滞在できればと思いますが、まだ空きはありますか？

また、そちらでの生活や用意するものなど教えていただければと思います。

家もあるし緊急度で言ったらそれほど高くないのかもしれませんが。

ただ、思いっきり子供に外で遊ばせてあげたいという強い思いはあります。

最近子供の毎日出る鼻血や肺炎、長引く風邪がおかしいなと思い調べたところ、原発由来の可能性があると知り、自分なりに情報収集をしてきました。

知れば知るほど神経質になってしまって、避難はできなくても一時的に遠ざかるだけでも効果はあると聞き、探していたところ『つなぐ光』さんのHP にたどり着きました。

●05：

〇〇市在住です。

〇〇歳の子供と一ヶ月ほど疎開したいと考えています。

コンドミニアムを考えていますが、スーパーや病院が近くで、できれば子供と遊べる所が近くにあるような場所がありましたら教えてください。

このような形でのご支援、心より感謝申し上げます。

現在、体調が悪いわけではないので緊急度は高くはないと思いますが、事故当時の放射線量が高かった時期に、知らずに子供と外に長時間いたので、それなりに吸いこんでしまっていると思います。

避難のつもりで数ヶ月間〇〇県の実家におりましたが、当時は汚染されていると思わず普通の生活を送っており、母乳も飲ませていたので余計な被ばくもさせてしまったと思います。

症状がでてくる時期のピークがお正月頃という話もあるので、今後、症状がでてくる可能性もあると思いますので、可能でしたら早めに避難できたらと思っています。

第一希望は12月〇〇日くらいから一ヶ月間です。

外部被ばく量を減らし、内部被ばくしていると思われるので体内の放射性物質を減らして、ダメージを受けていると思われる子供の身体を回復させたい。

放射能の心配のないところで、子供を遊ばせたい。

外遊びが好きな子供なのですが、どうしても放射能が心配で控えてしまっているので、ストレスがたまっていると思います。

自宅周辺の線量は公表されている〇〇市の放射線量よりずっと高いです。

●06:

福島原発から200キロ辺りの〇〇県在住の〇〇才児の母です。

飛行機のチケットが取れば、12月〇〇日位から2週間ほど沖縄に保養に行きたいと思っています。

時期的にホームステイよりは個室希望なのですが、空き状況など教えていただけますか。

とにかく〇〇圏からは可能な限り離れたいのですが、もし〇〇県の方が同じ時期にそちらに入居希望であれば、私の権利はお譲りします。

毎日の放射能ストレスからの心身の保養が目的です。

食材確保、外遊び、線量を気にする生活などです。

実家住まいで、〇〇県にいと年末年始の親戚行事が避けられず、子どもへの無理な制限と食品からの内部被ばくをしたくない為です。

●07：

はじめまして、〇〇市在住、〇〇歳と〇〇歳の母です。

沖縄に疎開を考えています。

行ったことも知り合いもいせんのでどう動いたらいいのかわからないでいます。

冬休み避難できたらと考えています。

母子のみでの避難です。

避難を受け入れてくれる施設などありましたら教えていただきたいです。

12月〇〇日から希望します。

放射線から子供を守りたいし、母のストレスの限界からです。

よろしくお願い致します。

●08：

『つなぐ光』の皆様、初めまして！

〇〇市在住の〇〇と申します。

子ども、〇〇才と〇〇才の子と3人で疎開先を探しております。

〇〇才の子どもは、原発事故後も大好きなサッカーをずっとやってきてます。

サッカークラブで、風の日も雨の日もほぼ週4日やってます。

私はずっととても不安で話しをしてきましたが、子どもは大好きなサッカーをやりたいと休みません。

他休む子は一人もいなく、話しても拒否し続ける状況です。

砂ボコリ舞う中、どれだけの量を吸い込んでしまってるのか…不安が限界です。

少しでも避難して、放射能を出してあげたい気持ちでいっぱいです。

〇〇才児は、ずっと土の上で泥だらけで遊んできました。

自主保育外遊びの会で友達 10 人位と週3~4日、プレーパークで走り回ってます。

室内遊びも試みましたが、子たちもストレスで色々なことが起こり、夏からは外遊びに戻しました。

同じく少しでも少しでも避難させたいと願っています。

お母ちゃん達と手探りで活動しており、事実がわからない状態でこのままでいいのかといつも不安を抱えて過ごしています。

疎開期間は、12月〇〇日から3週間日程できたらと思っています。

ネットで、つなぐ光さんの素晴らしい活動を見てとても感動し、みなさん楽しそうに過ごされていて、〇〇市から受け入れしてもらえるのかどうか、思い切って問い合わせいたしました。

正直に精神的に自分がまいってきてるなと感じ、突然のご連絡をお許してください。

我が家には、他に〇〇年生、〇〇年生の子がおり、正直、避難するお金もないので、夏休みは動けませんでした。

でも、状況が少しずつ明らかになってきて、今は、子どもたちの避難がまず先ではないかと思っています。

私自身、少しでも放射能から放たれたいと思ってるなと最近感じます。

同じ気持ちの避難されてる方々と繋がって、情報交換しながら、少しでも元気になり、子どもを守るために母強くなりたいです。

一言で申し上げれば、放射線能汚染のない場所で短期間でも、子どもたちの体を休ませてあげたい。

親として子の健康を守りたいです。

昨日、〇〇さんの講演会へ行ってきました。

悔しくて情けなくて涙が止まりませんでした。

もっとお母さん達強くなって、みんなで肩組んで、つながって、本気で子どもたちを守るシステムを作らなきゃと改めて思いました。

長く続く長い橋をしっかりと焦らず前を見て歩いていきたいです。

長くなりましたが、お忙しい中大変恐縮ですが 返信をお待ちしております。

どうぞよろしくお願いたします m(_ _)m

ありがとうございます。

●09:

主人がつなぐ光の避難範囲を広げていただいた事を知り教えてくれました。

知り合いもなく一度も行った事がなく、二泊三日で不動産、車購入、仕事、保育園を決めるとなるととてもきつく、ゆいまーるさんでお世話になる事が出来て本当にありがたいです。

精神的に参っていて毎日、外に出たがる子供にストレスと泣いて暮らしていましたが、先が見えて頑張る気力が湧いて来ました。

避難は、放射能から逃れる為で、震災で壊れたり失ったものはありません。

幼稚園のカバン、制服一式あります。

主人は〇〇市に残ります。

服以外の生活に必要な物は沖縄で揃えたいです。

三輪車、子供のおもちゃ、車あります。

遠く離れた沖縄でこの様な活動をして下さりありがとうございます。

震災後、二カ月ほど、〇〇県に避難していました。

〇〇県に戻り、水、食事に気をつけ、洗濯、布団も外には一度もださず、窓もなるべく開けない、マスクを必ずつける、など気をつけていましたが、〇〇月からずっと喉の痛みがあります。

血液検査での異常はなし。

〇〇歳の子供は、〇〇月から幼稚園に通い出しましたが、下痢、脱毛、風邪をひきやすく、〇〇月には原因不明の高熱がでました。

血液検査で白血球が高く、五項目がひっかかりました。

まわりの理解も得られず母子疎開に踏み切れずにいましたが、まわりになにを言われても子供を守る事に決めました。

〇〇市に何度も電話をしたり、直接話をしたりして除染をお願いしたり、生協に二度手紙を出して、食品のベクレル表示をお願いしたりしましたが、なにも変わりません。

幼稚園の先生にも国が安全だというのを信じている、と言われ給食には産地のものが出ます。

水筒を持たせ牛乳を拒否しマスク姿の子供に私は神経質、ノイローゼだと言われて疲れてしまいました。

頑張って変えていく事より逃げる事しかない事を痛感しました。

食材は〇〇県まで買い出しに行き海外の物、沖縄物産展、北海道物産展を利用していましたが、やり切れず精神的に辛く毎日泣いてしまいます。

〇〇月で幼稚園、私のパートを辞めて母子疎開に踏み切る決意をしました。

母子疎開するなら後悔ないように日本で一番安全と思われる沖縄に行きたいと思い、家族を説得しました。

子供の健康不安、将来の事を考えて今の環境での子育ては無理である事。

私が病気でも子供を守れない事。

行政に働きかけ、デモ参加、署名などできる事はしてきました。

なにも変わらない、まわりからも神経質だと言われ疲れました。

業者に頼み除染をしましたが、室内でも 0.13 を越えて窓を開けない、洗濯、布団を外に出さないなど気をつけても防ぎきれません。

外で遊びたいという当たり前の子供の要求を抑える事が辛いです。

主人とも離婚の話が何度もでて、やっと沖縄に行く事を認めてくれ、私の家族も実家である〇〇県では駄目なのか?と揉め、やっと認めてくれました。

お忙しい所、長々と長文を読んで下さりありがとうございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

●10:

はじめまして。

さきほどつなぐ光さんにお問い合わせいたしました〇〇と申します。

応募したいので募集項目をおしえていただきたいです。

必ず避難したいです。

放射線からの退避と安心な食事をしたい。

おいしい空気を吸いたい。

これからのこれからのことを考えたい。

よろしく願いいたします。

●11:

子どもに外遊びや、飲食物を制限しています。

初期の被ばくも気になっているので、汚染のないところで子供を遊ばせたり、体を休めさせたいとおもっています。

震災直後、知識がなかったので外に出ていたこともあり、初期の被ばくが気になります。

食べ物が手に入らず、手にはいる県内、近県産の物をたべていたので内部被ばくもしていると思います。

子供たちの体調も放射能のせいではと考えてしまいます。

体をやすめて回復させてあげたいと思っています。

初期の外部被曝、飲食物や埃からの内部被ばくも気になります。

子供の将来のために、体を休めさせて回復させてあげたいです。

外遊びを制限しているので、汚染のないところで遊ばせてあげて体力をつけさせたいです。

よろしくお願いします。

●12:

冬休み避難を希望します。

叔母を頼り〇〇県にきましたけど数値がとても高いです…。

子供達の体調がとても心配です。

〇〇県への避難を後悔しています。

冬休み期間だけでも安全な場所で過ごしたいです。

子供達の体内に何が起きている正直…わかりません。

ただ母親として以前と違うことはわかります。

〇〇地方は全て汚染されてしまっている気がして不安です。

安全な場所で家族で伸び伸び暮らしたいです。

よろしくお願いいたします。

●13:

生活に関わるものはほとんど揃っていますので、そちらで必要なものが分かれば持って行きます。

また、もし可能であれば、車も一緒に持って行きたいと思っています。

沖縄に1ヶ月ほど滞在させていただくことができれば、その間に、居住場所や子供達が沖縄での生活に
適応できるか、など移住に向けて前向きに考えたいと思っています。

以前、〇〇のための施設運営をしていたことがあり、つなぐ処での活動にも興味があります。

●14:

自宅は一部損、放射線量が高い、着替えあり、パソコンあり、一応生活はできている状態です。

福島原発から〇〇キロ以上離れている場所なのですが、ホットスポットの為、小さな子供達を育ててい
くのは困難な場所となっていました。

原発事故以来、子供達の急な発熱、鼻血、アトピーの悪化などがあり、沖縄移住を希望していますが、
行ったこともなく、知人もいません。

希望日は12月、1月くらいです。

〇〇市はホットスポットで放射線量が高く、子ども達のが心配です。

部屋も毎日3回掃除しても、線量が下がりません。

庭が0.5マイクロシーベルト/hで、庭遊びもしていません。

放射能が降った頃、子ども達はひどい下痢で入院しました。

検査しても何も分かりませんでした。

その後も、私の知識不足でだいぶ被ばくしていると思います。

申し訳なく思っています。

少しでも、被ばくを避け、回復させてあげたいと願っております。

●15:

放射線量が高めの地域に住んでいます。

実際に自分で測定したら自宅周辺は0.3~0.6マイクロシーベルトあり、子どもへの影響を心配しています。

地震による自宅損壊などはなく物質的には困っていませんが、マスクをつけ、食材の産地をきにして、子どもは外遊びなしの制限のある生活をしています。

特に〇〇歳の子どもの放射能の影響を心配しています。

一ヶ月程度の母子疎開をしたいと思っています。

どのような方法があるのか、費用はどれくらい掛かるのか教えて頂けないでしょうか？

私たちが住む地域の放射線量は〇〇県と同じです。

子供が普通に生活できるレベルではないと思います。

自宅周辺は0.3~0.6μ室内0.2μ。

普段は元気な子供ですがベビーカーで外出すると体調を崩します。

放射能の影響かは分かりません。

早急に子供を疎開させたいです。

原発事故から6月まで以前と同じ生活をしてしまい、子供を被爆させてしまいました。

外出後の子供の体調が優れないのでおかしいと思い調べまくり、自分の住む地域の放射線量が高いことがやっと分かりました。

それからは食材の産地を選んだり、水に気をつけ、なるべく外出せず、外出はマスク着用。

私の精神も限界にきています。

でも放射能の問題は長期戦ですのでへこたれてはだめですね。

チェルノブイリの事故の時にベラルーシでは被爆を低減させる為に子どもを一ヶ月海外で保養させたということを知りました。

経済的に余裕がないので移住が難しいのですが、短期でも子供を放射能の少ない土地で保養させたい、これが私の避難したい理由です。

よろしく願いいたします。

=====

これらを拝見しますと、それぞれに大変なご苦労があって、しがらみなども調整しながら、ようやく沖縄に来れることがお分かりいただけると思います。

そして、わざわざ沖縄に来ようとする方は、「現地では不安を分かち合える仲間がない」傾向が当初からあります。

(聞いた感覚では、東北の総人口にしたら9割以上の方は不安に思っていないかも知れません)

よって、文面の中にあります「頑張って変えていく事より逃げる事しかない事を痛感しました」とは、本当に悲痛な叫びだと思えます。

これら上記のメールは、現在の第二次支援体制におけるレスキュー要請メールから、個人が特定できそうな情報を省いたものです。

メールの主は、この冬休みを挟んで、一時滞在避難をご希望されるご家族で、ほぼ飛行機も予約され、「ゆいまーるの杜」のお部屋も確保された方々です。

ここに掲載したのはたった15通のメールですが、実際には、最終的に「来たくても来れなくなった」方々からのメールも含めると、この数倍のメールが届いています。

メール内容は1件1件全て異なりますから、つなぐ光は、メール対応だけで相当の時間を費やしています。

返信文章の作成だけで1時間以上かかったり、調べ物で時間がかかることもあります。

また、メール内容からお電話した方がよさそうな場合はお電話をします。

つなぐ光は全国の皆様のご寄付で活動させていただいているので、その思いから、少しでも被災地の方にご安心いただければと願っております。

さて、既報どおり「ゆいまーるの杜」が有り難く3月まで使えるようになりました。

そして、つなぐ光のレスキューエリアは、原発100キロ圏内から、200キロ圏内に拡大しました。

本日のブログは、大震災の爪痕で不安な日々を過ごされている方がまだまだいて、その方々の中で不安がピークに達した方が沖縄に来ている事を知っていただきたかったのと、その方々を支援する団体である「つなぐ光」そのものの経済体力も、なんとか3月まで持たせたいという願いを込めて書かせていただきました。

つなぐ光の主旨にご賛同くださります方は、活動のサポートをお願いします。

よろしく申し上げます。

ありがとうございます。